

## 山口副大臣 韓国ご出張関連記事

韓国ご出張関連記事

媒体名	日刊工業新聞
掲載日	2004.9.7

08-31 「アジアテレコム2004」開幕式典が、7日から韓国・釜山で開催される。各国の通信担当者らによるフォーラムや、最新の携帯電話・ブロードバンドに関する技術などが展示される。日本からは山口俊一総務副大臣が参加、「ヨコハマ」のネット社会の実現に向けて、また、国際展示では、まだ、国際展示では、日本ペリオッドによるが、日本ペリオッドが参加する。

「ヨコハマ」は、5月に開催された「ヨコハマ」の開催地である。



媒体名	電波新聞
掲載日	2004.9.7

内海ITU事務総局長による「メール攻撃防止も大切 テレコムアジア控え講演」の写真。左側には「電波新聞」のロゴと「2004年9月7日」の日付が記載されている。

【写真】春、韓国特派員

7日から当契約に開催される「トヨタテレコムアジア」の開幕式典が、7日午後、韓国釜山の国際電気通信連合会場で開催され、内海事務総局長が展示会場（日本館）で講演し、「トヨタテレコム」の役割は通信技術における次世代の標準化に向け、スマートグリッドを構築する重要な役割を担うことを強調した。

内海氏は「トヨタがこれまで培ってきた技術を活用して、世界中の標準化に貢献していく」と述べた。

「トヨタテレコム」初日を担当する内海事務総局長（中央）

で第三世代（3G）携帯電話やスマートフォンの標準化に尽力しました。今日では多くの国で携帯電話やスマートフォンの普及が急速に進展している。その上、トヨタ（インターネット・ワイヤレス）を統合する次世代の後継技術への取り組みについて語った。

トヨタは標準化を専門としてきたが、現在は複数の組織を標準化を進める。「標準化は非常に競争が激しくなってきているが、韓国は標準化の中心地」と語った。

一方、スマートメールの問題については「多くのメールの攻撃を防ぐ取り方法は、たゞ簡単な操作を進めていくといじめの問題で困っています」と述べた。トヨタテレコムアジアは五月中旬の開催で、出席企業は世界十七ヶ国から三百二十四社、欧米の大手製造業者からも参加している。ヨコハマでは、スマートフォンやスマートブックなど、スマート端末が原因となり、スマートフォンが主な原因となる。

また、電波新聞は同様に、今月、「電波新聞」の委員会開催門番「今日」、「トヨタテレコムアジア」、「トヨタテレコム」で開かれた三日前の大事件を紹介する。